



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	日段株式会社
所在地	鳥取市古海531
代表者	代表取締役 山川 正人
業種	製造業
事業概要	<p><u>段ボールシート・ケース製造、梱包資材販売</u></p> <p>「モノ」を「包む」「運ぶ」という物流に欠くことのできない「段ボール」は、使用後もリサイクル(回収～再生)の仕組みが確立され、ワンウェイであるにもかかわらずリサイクル率95%以上という類い稀な素材で、持続可能な社会の実現に不可欠です。</p> <p>日段は、創業昭和38年以来、長年にわたって培ったノウハウと確かな信頼で、お客様のお困り事に寄り添いお役に立ちたい思いで、設計から生産まで一貫通貫の体制を構築してきました。</p> <p>段ボールの特性を活かしつつ、多品種・少量生産・短納期の要求ほか、日々変わりゆくニーズにも応え、山陰はもとより、山陽・関西へもお届けしています。</p> <p>「人と、地球と、暮らしとともに・・・」を掲げ、限りある資源を活かし、独自の発想と技術で、持続可能な社会の実現と、未来の創造に貢献致します。</p> <p>2001年 ISO14001 認証取得 [ISO14001-E1564] 2013年 ISO9001 認証取得 [ISO9001-Q3540] 2018年 FSC(R)/COC 認証取得 [FSC(R) C143436]</p>

とっとりSDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名: 日段株式会社]

2030 年に目指す姿

1-1<2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

日段株式会社は、社是『日新日日新』の精神に基づき、日々研鑽に努め、革新的な製品およびソリューションの提供を通じて、地域・社会などのステークホルダーに感動を与え、ともに、新たな社会・環境・経済価値を創出することを経営戦略に据えています。

- ・管理された森林・木材が使用された原料を使用し、森林保護活動を支援する。
- ・環境負荷の少ない梱包資材とえば、段ボール製品だと認知して頂ける。
- ・再生エネルギーの採用で、自社製品のライフサイクル CO2 が削減し、経済的競争力が向上する。
- ・環境意識が高まる程に、段ボール素材及び日段の製品・サービスが選ばれ、TFP が向上する。
- ・EVの採用や、スマートなデバイスやワークフローの採用で DX し、省資源・省人化する。
- ・働き方改革を推進し、全ての人が活躍できる職場環境になる。
- ・リスクマネジメントに取り組み、強靱な組織になる。
- ・持続可能な物流システムの構築に寄与する。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

- 【1:社会】プラスワン:ホワイト物流への参画
- 【1:社会】8:社会配慮型商品・サービスの提供
- 【3:環境】9:環境配慮型商品・サービスの提供
- 【3:環境】6:カーボンニュートラル<創エネ>再生可能エネルギーの導入

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的な取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

取組み項目	正の影響<機会>	負の影響<リスク>	分析・考察
【1:社会】 プラスワン:ホワイト 物流 <荷主としての参画>	・適材適所の人材 活用 ・パレット活用による 荷役リードタイムが 短縮する ・持続可能な配送 体制が構築できる。	・配送時間延長による納品リードタイ ムが伸びる。 ・製品在庫スペースが不足する。 ・パレット在庫スペースが不足する。 ・在庫へ配送コスト増による段ボール 製品の値上げが必要になる。 ・価格競争力が低下し、段ボール離 れし、業績が悪化する。	・分業、ワークシェアリング、働き方の改革を支援した い。 ・お困り事など情報共有し、DXを中心に、作業環境や 仕組みを見直す事で、改善するべき。 ・顧客要求事項と製品・サービスとのギャップを調整 し、顧客においても一定のご理解を頂く。 ・EV、バイオ燃料、安全運転支援拡充なども要請した い。
【1:社会】 8:社会配慮型商品・ サービスの提供	・段ボール用途の拡大 ・需要、市場の拡大 ・生産性、業績の向上 ・地域経済の向上	・製品在庫スペースが不足する。 ・生産性が低下する。 ・製品の値上げが必要になる。 ・価格競争力が低下し、段ボール離 れし、業績が悪化する。	・モノだけでなくコトについても役立ちたい。 ・何に期待されているのかを知る姿勢が必要と感じて いる。 ・多種多様なチャレンジで、事例を収集し共有する事 で、次へ活かしたい。 ・継続的なビジョンの共有と見直しを行う。
【3:環境】 9:環境配慮型商品・ サービスの提供	・森林資源の再生 ・水産資源の復活 ・持続可能になる	・原材料、商材の在庫スペースが不 足する。 ・製品・サービスの選択肢が狭くな る。 ・合理化する程に差別化できず競争 力が低下し、業績が悪化する。	・循環型社会の拡大で、今後も改善が要求され、期待 に応える事が重要。 ・継続的なビジョンの共有と見直しを行う。 ・私生活においても、生活習慣の見直しや行動変容を 促すべく、社員教育を実施したい。
【3:環境】 6:カーボンニュート ラル<創エネ>再生 可能エネルギー の導入	・要求事項に応え、 事業が継続する ・異常気象、災害が 減る ・子々孫々、安心な 環境を残す	・設備投資で資金が必要になる。 ・固定資産が増え増税する。 ・製品の値上げが必要になる。 ・価格競争力が低下し、段ボール離 れし、業績が悪化する。	・事例の収集や他社の見学を通じて、アイデアや革新 的技術の積極活用を行うべき。 ・あるべき姿(ビジョン)を共有し見直しながら、環境保全 活動を支援するべき。 ・カーボンフットプリントやカーボンクレジットへ参画し、 カーボンの見える化～監視測定する事で、継続的改 善する。

達成するには、モノからコトへのサービス創生を含めた生産性向上、製品・サービスの見直し、適正な製品価格転嫁が必要となる。その為には、SDGsやサステナビリティへの関心の高まり～醸成が伴う必要がある。早く始めて事例を増やし、開発目標の達成へ貢献したい。

社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会を中心に労働安全衛生マネジメントを行っている。 ・西日本段ボール工業組合からの労働災害連絡の周知し、類似災害防止に繋げるなど注意喚起している。 ・災害事例を社内に掲示している。 ・5S委員会を設置し、(我が社の3K)キレイでカイトキでカッコイイ職場環境になるよう、常に見直ししている。 <p>#リスクアセスメント #ヒヤリハット #KYT #5S #パトロール #安全運航管理 #防火組織 #非常事態対策本部</p>	<p>【今後の目標・達成時期】(永続的取組み) 労働無災害日数を継続する。 2023/04/13 時点 324日達成</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生マネジメントの継続的改善。
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント相談窓口の設置および対応フロー図の掲示。 ・就業規則へハラスメントが懲戒事由になることを明記。 ・社長の訓示「ハラスメントは許しません」を食堂へ掲示。 	<p>【今後の目標・達成時期】(永続的取組み) 対象事案 0件</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの起因は人間関係である事から、どういふ言動や行動が相手に不快な思いをさせるかを社内掲示(厚生省例)や、動画による教育を行う。 ・定めた対応フローに従って対策委員会が対応を決定。 ・ハラスメントが認められた場合は、件数をカウントし社内に周知する。
3	女性の活躍	○	<p><KPI> 全従業員に対する女性の割合 45.9 % (2023/03 時点) 全管理職に対する女性管理職の割合 11.1% (2023/03 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児規定を法令と同様にし、出産後も子育てと仕事が両立しやすいワークライフバランスを目指している。 ・看護休暇を特別有給休暇としている。 ・時差出勤の活用を促している。 ・これらは男女問わず適用される。 	<p>【今後の目標・達成時期】(2026年) <KPI> 全従業員に対する女性の割合 50% 全管理職に対する女性管理職の割合 15%</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性社員の積極登用(機会の増加) ・マネジメントやリーダー研修の紹介～受講の指示。 ・女性活躍事例紹介(世の中の女性管理職や役員の職歴や経歴)。 ・定期的に個人面談を実施し、家庭と仕事を両立したワークライフバランスを共に考える。 ・女性でも働きやすい作業現場への改善を継続的に行う ・性別の分け隔てなく、希望する職種への挑戦を促す。
4	障がい者が働きやすい職場づくり ★従業員数が43.5人以上の企業の場合は、法定雇用率を満たしていること	○	<p><KPI> 障がい者雇用者数 4人(2023/03 時点) (※雇用率 2.36 % 2023/03 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <p>障がい者が作業しやすい環境の整備、就労場所の確保。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】(2025年) <KPI> 障がい者雇用者数 5人 (※雇用率 2.5%)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <p>障がい者の雇用確保に向けて、ハローワークなどの障がい者人材紹介制度を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の雇用事例を把握、また就労支援機関と連携し就労体験機会を創出し、それぞれの力量にあった業務を紹介し雇用確保する。
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】</p> <p>非正規労働者の正規への転換促進。 同一労働同一賃金に基づく待遇格差解消。 定年後の継続雇用。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】(2026年) 正社員への転換を支援し、労働力が確保され続ける。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の職務評価表チェックシートを活用した見直し(定期昇給時) ・計画的にジョブローテーションを行い、適した業務を見だし、やり遂げて頂く事で、仕事へのやりがいを感じて頂く。
6	多様な働き方の促進	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時差出勤制度を導入し、育児や介護などによる離職を予防している。 ・介護や子育て休暇を、有給化し支援している。 ・長時間残業を抑制するため、社員の多能化を目指したジョブローテーションを実施している。 	<p>【今後の目標・達成時期】(2025年度内) ・36 協定上の残業時間上限 42 時間/月の順守</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・42 時間/月を上限とした 36 協定の締結 ・労働時間や休暇取得に関する相談窓口設置 ・人員のローテーション ・人員の多能工化

7	労働者への人権配慮	○	【主な取組】 ・人権研修セミナーへ積極的に参加している。 ・教育テーマを見直し教育訓練計画を作成している。 ・動画を活用した社員教育を行っている。 ・教育訓練記録に残している。 ・アンケートで従業員の本音を聞き出している。 ・内部監査を実施し、常に見直している。 これらを、継続的改善し、マネジメントの質を高めてきた。[ISO9001:2015 認証取得]	【今後の目標・達成時期】 (通年・毎年) 1人1人の人権意識向上 【目標達成に向けた取組】 ・リードタイムの延長など、全要素生産性(TFP)向上の為に、全国段ボール工業組合連合会と一体となって取り組んでいる。 ・ハラスメント防止と共に、今後も弊社マネジメントシステムを継続的に改善する。
8	社会配慮型商品・サービスの提供 <u>※環境に配慮した商品・サービスは環境9に記載してください</u>	○	【主な取組】 段ボールの開封や解体を楽にする工夫を施すなど、パッケージの機能に磨きをかけ、さまざまな社会的課題の解決を行う。 ・プラスチックから段ボールへの転換を提案 ・Facebook で提供実績を報告。 ・YOUTUBE チャンネルを開設(2023年)。 #地域貢献 #全体最適	【今後の目標・達成時期】 (通年・毎年) 脱プラ等の事例の増加 【目標達成に向けた取組】 ・どのような配慮ができるか顧客へ企画・提案する。 ・顧客目線の動画コンテンツを作成し、顧客への企画・提案の機会を増やす。
9	地産地消	○	【主な取組】 ・三洋製紙様をはじめ、故紙リサイクルに協力している。 ・原材料仕入や消耗品購入、建屋、電気、ITインフラ、営業車など、地元企業を優先し購買している。	【今後の目標・達成時期】 (2030年) 市場や店頭で、産地の顔としてアピールしながら、パッケージ品質で地産地消に貢献する。 【目標達成に向けた取組】 地元の事業者と協力し、青果物や水産加工品などの統一感のあるパッケージデザインを考案する。 #ブランディング #生産性向上
10	地域社会への貢献 <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	【主な取組】 ・学校や地域のイベントに自社製品を協賛している。(段ボール迷路、工場見学) ・鳥取県と、原子力災害の物資供給に関する協定を締結[2014/7/11] ・災害発生時、避難所用に段ボールベッド、間仕切りを、迅速に供給した。 ・会社周辺を含めた屋外清掃活動[2回/年] ・納涼祭などを催し、従業員家族・関係者をはじめ、広く参加して頂き交流を図っている。 ・野球部を創部し、地域社会人野球リーグに参戦し、交流を図っている。	【今後の目標・達成時期】 (通年・毎年) (今後も)小・中学校・地域等からの協力要請に快く応じる。 【目標達成に向けた取組】 ・段ボール素材の提供。 ・職場体験学習などの受入。
+	プラスワン 【ホワイト物流への参画】 ★SDGsに関する特徴的取組で、社会1～10に該当しない取組があれば記載できる	○	【主な取組】 ・燃料サーチャージなど、柔軟な運賃体系 ・パレットの活用	【今後の目標・達成時期】 (2030年) 物流の2024年問題など、荷主として顧客との間に立って、荷役・配送業務を適正化し、ホワイト物流に協力する。 【目標達成に向けた取組】 ・配送業者の声・お困り事を聞き、納入条件などを調整・緩和する。 (原材料等の受入にまつわるお困り事や、製品等の納品にまつわるお困り事のアンケート調査を行い、改善の機会を作る) ・DXや全体最適によるムダ削り。

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	【主な取組】 事業継続に関する要求が増す中、実際に被災した事もあり、マネジメントシステムの見直しが必要になった為、弊社マネジメントシステムは、BCMS(事業継続)、及びRMS(リスク)を2022年より採用した。 鳥取県版BCPについても、本社は2019年に策定し、遅れていた 出石・安来工場 についても、2023年03月及び04月に策定した。	【今後の目標・達成時期】(2030年) あらゆる困難に立ち向かえる、強靱な組織になる。 【目標達成に向けた取組】 ・組織の目的・目標、将来のビジョンの共有を図る。 ・教育・訓練・演習の実施、特に想定演習を行う。 ・安否確認方法の見直し。
2	セキュリティ対策	○	【主な取組】 ・エンドポイントセキュリティの導入(2020年) ・UTMの導入。(2021年) ・弊社マネジメントシステムは、RMS(リスク)及びBCMS(事業継続)を採用した。(2022年) ・3事業所間で相互バックアップを行い、堅牢かつ柔軟に事業継続に対応。	【今後の目標・達成時期】(2024年) 顧客より、必須ではないとしながらも情報セキュリティマネジメントを要求される機会が増えている事から、弊社マネジメントシステムの見直しが迫られている。 ISMS(ISO27001:2013)の採用。 【目標達成に向けた取組】 今後も弊社マネジメントシステムを継続的に改善し、マネジメントの質を高める。
3	法令順守の取組の徹底 必須項目	○	【主な取組】 ・時代の流れに沿った規則の見直し。 ・法改正による社内制度・規則の見直しと、社員教育の実施。 ・購買において、納期や価格について強要しない。 ・社会問題である交通マナーの順守～全体朝礼で全社員の交通安全を周知している。(毎月)	【今後の目標・達成時期】(永続的取組み) 法令違反者を出さない 【目標達成に向けた取組】 今後も弊社マネジメントシステムを継続的に改善し教育訓練などの質を高める。
4	情報公開	○	【主な取組】 <社外> ホームページ、Facebook、YOUTUBEを組み合わせ、情報共有している。 <社内> グループウェアを活用し、情報共有している。	【今後の目標・達成時期】(通年・毎年) ひとりひとりが、発信する側に立つ。 【目標達成に向けた取組】 ・決算報告をホームページ等で公表する。 ・管理職が持ち回りでコラムを掲載するなど、業務連絡だけでなく、信条やビジョンなどを共有する事に慣れて頂く。
6	コロナなどの市場変化を見据えた対応	○	【主な取組】 ・巣籠り需要などに即応し流通を下支えした。 ・商品の簡易包装の提案などを推進した。 ・機能性(防菌)段ボールを提案した。 ・飛沫防止パーテーションを開発し販売した。 ・鳥取県新型コロナウイルス感染予防対策協賛オフィスとして登録した。	【今後の目標・達成時期】(永続的取組み) 生産量が落ちても雇用を継続する 【目標達成に向けた取組】 ・抗菌など機能性のある原材料、あるいは商材の採用を進める。
7	自社以外の経営資源活用	○	【主な取組】 ・外部のパートナー企業と協力し、製品開発している。 ・防災関連商品の開発(吉谷機械との共同開発)	【今後の目標・達成時期】(2026年) ・自社だけでは成し得ないような新商品を提供する。 【目標達成に向けた取組】 ・インクジェットプリンターによる美粧性の高い製品の創出。 ・自然災害など非常事態における、お互い様支援の具体化。
8	デジタル化による生産性向上	○	【主な取組】 ・IT部門を中心に推進中。 ・製販一貫の基幹システムを構築 ・グループウェアやSFAを導入し情報共有を促進 ・ロボット導入し生産性向上 ・検査装置導入し省力化 ・生産設備のスマート化により省人化 ・スマートものづくり(鳥取県産業振興機構)の受講。 ほか多数(公表は控える)	【今後の目標・達成時期】(2027年) ・システムを統合し、近代化を図る。 ・IoTなどによる現場改善の推進。 ・ひとりひとりがITを活用できる。 【目標達成に向けた取組】 個別管理の拡大や、MRPの採用等、多数企画している(公表は控える)

9	雇用の維持・拡大	○	<p>【主な取組】 就職後のミスマッチを予防する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場見学して頂く ・内定後のフォローアップ ・定年年齢を65歳に延長した。 	<p>【今後の目標・達成時期】(2026年) 年間2名の採用</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続雇用年齢を70歳に延長する。 ・就職フェアへの参加、SNSを通じての会社紹介を定期的に行う。 ・兵庫県出石工場の増設で事業を拡大し、雇用も拡大する。
10	人材育成・能力開発	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年個人目標を設定・共有し、達成に向け互いに支援している。 ・毎年教育訓練計画を作成し、計画的に実施する仕組みがある。 ・従業員のスキル把握の為に個人技能認定評価表を作成しマネジメントしている。 ・外部研修への参加を推奨している。 ・改善提案をシステム化し、優秀な取り組みには賞典を与えている。 	<p>【今後の目標・達成時期】(永続的取組み) 会社経営の中核を担うための若年世代(おもに40歳以下)の管理職への積極的登用とキャリアデザインの設定(2024年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員のスキルを把握し、多能工化を図る。 ・社員・部署長との育成方針のマッチングを図る。 ・弊社マネジメントシステムを継続的に改善し教育訓練・技能等の質を高める。
+	<p>プラスワン 【協業・共創の積極参加】</p> <p>★SDGsに関する特徴的取組で、経済1～10に該当しない取組があれば記載できる</p>	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車用飛沫感染防止用品を、中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会で製品化した。 ・障がい者向け段ボールベッドをNPO法人地域活動支援センターおおぞら様と共同開発した。 ・吉谷機械製作所様とコラボし、防災関連製品の企画・開発を行った。 ・株式会社清水様らとコラボし「ものフェス」に企画し、段ボールへの理解を促している。 ・顧客だけでなく、こども参観日など、積極的に工場見学をして頂き、親しみ・理解を頂けるようにしている。 	<p>【今後の目標・達成時期】(2024年) (今後も積極的に参加する)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックから段ボールへの転換などで、各社のノウハウを活かしながらSDGsの達成を支援する。

環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・異常気象、自然災害の増大 ・産業の衰退、市場の縮小 ・労働環境の悪化 【分析に基づく主な取組】 ・労働環境の改善(GHP 空調導入)(2022 年) ・工場建屋屋根に遮熱塗料施工(大村塗料) ・事務所ペアガラスの採用(藤原組) ・工場エアコンの導入(鳥取ビルコン)	【今後の目標・達成時期】(2030 年) 温暖化しても働きやすい職場環境を維持する 【目標達成に向けた取組】 ・飲料水等を備蓄する。 ・断熱など建屋を継続的に改善する。 ・ピークシフトやサマータイムの導入。
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・人手不足等による産業の衰退、市場の縮小 ・脱プラスチックなど、環境意識の高まり ・低炭素社会への要求の高まり ・省エネ・再エネの普及 ・炭素税導入 ・製品原価の上昇 【分析に基づく主な取組】 ・循環型社会への貢献(古紙回収、古紙利用) ・CO2 排出削減(配送効率・燃費向上、事務所ペアガラス採用) ・賃金の見直し(ベースアップ) ・生産設備の見直しによる生産性向上	【今後の目標・達成時期】(2030 年) ・サプライチェーンを通じ CO2 排出量の削減 【目標達成に向けた取組】 ・カーボンフットプリントを考慮したよりローカーボンの原材料の選択 ・生産設備の見直しによる生産性向上 ・充電スタンドの設置や、通勤手当の優遇で、EV シフトに貢献 ・新分野への進出～業態変化も視野に入れ、今後も弊社マネジメントシステムを継続的に改善する。
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・資源の枯渇、産業活動による CO2 の発生、水質汚染、大気汚染 ・適切な森林管理を元に生産された製品の証しである FSC(R)認証製品の要求が高まる ・脱プラ、ローカーボンへの要求が高まる ・持続可能な素材として段ボール製品が選択される 【分析に基づく主な取組】 ・弊社マネジメントシステムのFSC(R) 認証取得 ・FSC(R) 認証材料を用いている ・堅牢な廃水処理システムに更新した ・高効率なボイラーに更新した	【今後の目標・達成時期】(2030 年) ・ライフサイクル CO2 の削減 生産量[m2]あたりの生産活動にまつわる CO2 発生量 2023 年: 67.94 [g-CO2/m2] 2030 年: <検討中> (電力会社で格差が大きく影響する為、検討中) 【目標達成に向けた取組】 ・FSC(R)認証製品の普及 ・顧客における FSC(R) 認証取得の支援(20 社) ・再生可能エネルギーの採用 ・カーボンフットプリント制度への参画 主要原材料や、委託している配送に係わる CO2 の測定を要求し、該当製品にまつわる仕損・歩留りを含め CO2 発生量を納品書・請求書等への記載を検討する。自社の活動だけでなく、ローカーボンの原材料の選択や配送の低炭素化・生産性向上に関与する。
4	【カーボンニュートラル①】 <省エネ>燃料消費量の削減 重点項目	○	<KPI> (2022 年) CO2 排出量 804.29 t-CO2/年 うち ボイラー 671.50 t-CO2/年 2022 年 生産量 25,630,885[m2] 生産量あたり排出量 26.2[g-CO2/m2] (671,500,000/25,630,885=26.19886126) 【主な取組】 ・ボイラ燃料を重油から都市ガスへ変更 ・高効率ボイラーを導入した ・配管の保温・遮熱など熱漏れを改善	【今後の目標・達成時期】 <KPI> (2030 年) 生産平米あたり排出量 25.8 [g-CO2/m2]/年 【目標達成に向けた取組】 ・生産性の向上による効率改善。 ・製造技術の見直し(蒸気温度等)による効率改善。 ・更なる遮熱や保温対策。
5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> (2022 年) CO2 排出量 937 t-CO2/年 2022 年 生産量 25,630,885[m2] 生産量あたり排出量 36.56[g-CO2/m2] 【主な取組】 月例会議で、前年との比較数値、生産量と電気効率を現した比率など、監視測定している。 (+)LED 照明の採用 (+)電力見える化 (+)デマンド監視 (-)生産設備の省人化により電動部が多くなる	【今後の目標・達成時期】 <KPI> (2030 年) 生産平米あたり排出量 35 [g-CO2/m2] 【目標達成に向けた取組】 ・カーボンの少ない電力会社の選択 ・再生可能エネルギーの採用 ・機械メーカーに省電力化を要求 ・適材適所の機械選定

6	【カーボンニュートラル③】 <創エネ>再生可能エネルギーの導入 <small>※再エネの売電は、環境9「環境配慮型商品・サービスの提供」に記載してください</small>	○	<KPI>(2023/03時点) 再エネ発電量 0 kWh/年 ※全使用電力に対する割合でも可 【主な取組】 ソーラーパネル導入に向け、2社へ照会し、見積りを頂いている。 導入規模は決定しているが、導入時期などを巡り検討を行っている。	【今後の目標・達成時期】 <KPI>(2024年) 再エネ発電量 88,000 kWh/年 【目標達成に向けた取組】 ・施工業者、導入時期を決定する
7	廃棄物の削減 ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	○	<KPI> 総廃棄物発生量 120.66t(2022/04~2023/03) 生産量 25,463,645 [m2](2022/04~2023/03) 生産量あたり廃棄量 4.7385 (g/m2) 【主な取組】 ・廃棄物の量を監視測定し、削減に向け継続的改善を続けている。 ・インキディスペンサーを導入し、インク容器を削減した。 ・これまでも継続的に改善し、生産性を高め、環境負荷の低減に努めてきた。 [ISO14001:2015 認証取得]	【今後の目標・達成時期】(2030年) <KPI> 生産量あたり廃棄量 4.5 (g/m2) 【目標達成に向けた取組】 ・常に現状を見直す事で削減への機会を逃さない。 ・今後も、弊社マネジメントシステムを継続的に改善する。
8	水資源の適正な管理	○	【主な取組】 月例会議で、都市ガス、工場電力などと共に、廃水処理の監視測定結果を報告し、削減に向け、継続的改善を求めている。 顧客独自の色指定や小ロットの要求で、印刷機の洗浄回数が増える事が危惧されている。 印刷機作業量あたりの廃水処理量をKPIとした。 2019年 2,642[t]/19,958 [千m2] =132.4[g/m2] 2020年 2,829[t]/21,412 [千m2] =132.1[g/m2] 2021年 3,007[t]/22,428 [千m2] =134.1[g/m2] 2022年 2,991[t]/22,981 [千m2] =130.1[g/m2]	【今後の目標・達成時期】(2030年) 印刷機作業量あたりの廃水処理 128[g/m2] 以下 但し、印刷機等の設備投資時に見直す。 【目標達成に向けた取組】 ・標準色(18色)への統合を推進し、印刷機の洗浄回数を抑制し、廃水を削減する。 ・顧客へ SDGs への理解と協力を促す。 ・顧客へ SDGs に貢献する取り組みとして提案する。 ~印刷を-見直し SDGs に貢献しています~ ・安来工場の印刷機についても、同様に管理を適用する。
9	環境配慮型商品・サービスの提供 <small>※環境に関する内容を記載してください</small>	○	【主な取組】 脱プラ梱包の推進 ・木材・樹脂リプレース商材の採用・開発(段ボールパレット・緩衝材) ・段ボール使用面積の削減=CO2削減 ・リサイクルマークでリサイクル普及 ・FSC(R)認証で環境配慮を訴求 ・環境負荷の少ない製品開発 ・使用材料の薄物化などによる軽量化 #FSC #リサイクル	【今後の目標・達成時期】 FSC(R)を取得する顧客が増える 2社/年、20社(2030年) 【目標達成に向けた取組】 ・段ボール古紙の緩衝材の販売 ・段ボールパレットの設計・提案 ・省資源化(W→Aフルート強化中芯)の提案 ・印刷インキ色の色数を減らす→標準色(18色) ・設計段階での歩留り向上 ・製品品質への許容度を広く取って頂くよう顧客へご理解頂き、仕損品を削減する ・出来高納品の推進による配送コストの削減 ・顧客における FSC (R) 認証取得の支援 ・「ワンウェイなのにリサイクル率95%」素材をPR
10	環境面での社会貢献 <small>※環境に関する内容を記載してください</small>	○	【主な取組】 ・会社周辺を含めた屋外清掃活動	【今後の目標・達成時期】(2026年) 「鳥取県版環境管理システム(TEAS)2種規格(2018)」の認証取得 【目標達成に向けた取組】
+	プラスワン【循環型素材の訴求】 <small>★SDGsに関する特徴的取組で、環境1~10に該当しない取組があれば記載できる</small>	○	【主な取組】 「段ボールは天然素材」「ワンウェイなのにリサイクル率95%以上」など、循環型で持続可能な素材として、より多くの方に認識頂き、段ボール製品を通じて、各方面の「お困り事」の解決に、貢献している。	【今後の目標・達成時期】 段ボールリサイクルシステムの市場の再認識 【目標達成に向けた取組】 ・YOUTUBE など動画による紹介